

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

水質科

平成13年1月15日

第41報

植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	360		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas elongata</i>	10		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	79		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	160		
(珪) <i>Stephanodiscus sp.</i>	20		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	60		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	70		
(珪) <i>Synedra acus</i>	60		
(珪) <i>Acnantes minutissima</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	60		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	120		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	3		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	459	40.2	21.6
(珪) 珪藻綱	460	40.3	45.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.8	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	15.8	17.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	23	2.0	14.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1142	総体積	7.00E+05
種類数	18	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は *が第1優占種、*が第2優占種
数字は各網ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnidium fluviatile</i>	280

第2優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	220

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に
規則正しく配列し、球状の群体を形成する。
各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

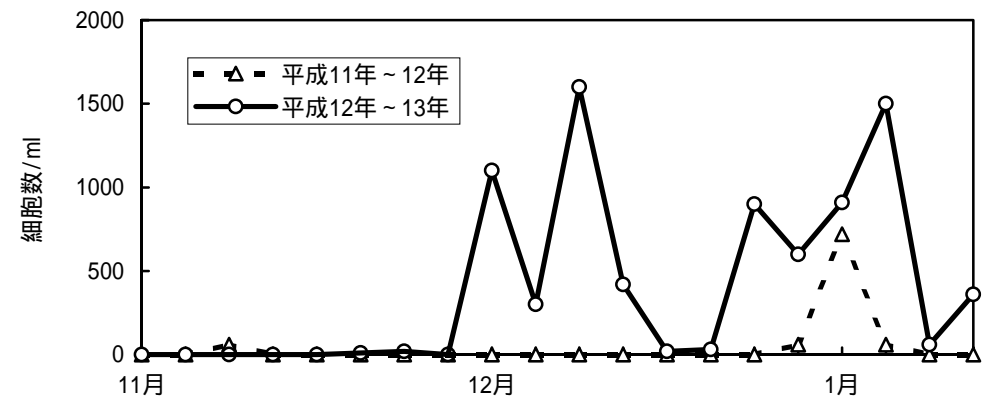


Tintinnidium fluviatile
(フデツツカラムシ)
繊毛虫類

前端に繊毛束があり、これを動かすことにより動き回る。
南湖に多く見られる。

コメント:

平成11年度と12年度の冬季におけるウログレナの出現状況を比較したのが下図である。11年度にくらべ、12月、1月ともにウログレナの出現が多いことが12年度の特徴である。



瀬田川における *Uroglena americana* の変動